

# 科目区分：自然科学科目

授業科目名	化学の基礎（プラスチックの化学）					学期	曜日	校時
英語名	Introduction to Chemistry（Chemistry of Plastic）							
担当 教員名	田上 直美	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	水曜日	4校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>近年のプラスチックは改良が進み、工業利用はもとより生命医療材料としても重用されている。しかしながら、プラスチックの安全性はまだ確実なものではない。本講義では、プラスチックとは何かを知り、プラスチックの応用範囲の広さを理解すると共に、その危険性や発展性について見解を深めることができるようにする。</p>								
テキスト、教材等								
<p>テキスト教材共に無し          （参考書：応用化学シリーズ 高分子工業化学 朝倉書店 山岡亜夫編著）</p>								
対象学生	成績評価の方法					教員研究室		
全学部	授業への参加状況 14%（1回につき1点） レポート 28%（1レポートにつき2点） 最終試験 58% *休講があった場合は最終試験点数にて調整予定							
授業計画								
第1回 高分子材料概論 第2回 プラスティックとは何か 第3回 プラスティックの分類 第4回 熱硬化性樹脂と熱可塑性樹脂 第5回 化学重合と光重合 第6回 光重合と光照射器 第7回 フィラーとは 第8回 プラスティックとナノテクノロジー 第9回 プラスティックの接着 機能性モノマーとは 第10回 プラスティックの変色 第11回 環境ホルモン 第12回 プラスティックかセラミックスか 第13回 歯科部門におけるプラスチックの展開 第14回 予備日 第15回 定期試験								
<p>オフィスアワー（質問受付時間）：授業の前後に講義室にて受け付けます。</p>								